

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
専攻実技4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	尾崎/Maliya/横山/大山			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
授業概要											
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。作曲をするにあたって必要なキーの理解、転調、セカンダリー等を実際に曲二取り入れられるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。											
到達目標											
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。											
授業方法											
なるだけ少人数制のグループで授業を進めていく。授業開始にはならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。毎回の小テストの他に、前期テスト、後期テストとあるが、合格点を取れるまで、なんどもテストを行います。テスト前には、補講も行い、分からない項目を分からないまま受験しないような授業となっている。											
成績評価方法											
試験・課題 成果発表 平常点	70% 20% 10%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 積極的な姿勢									
履修上の注意											
理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	セカンダリーの使用方法を楽曲分析にて理解させる										
第2回	実際の学生の曲にセカンダリーを入れてみる										
第3回	在る場合とない場合との違いを考察しながら、入れるポイントを理解する（2-5進行等）										
第4回	クリシェおよびその使用方法を分析にて理解させる										
第5回	既存曲を用いてカノン進行を理解する										
第6回	J-POPに良く用いられるいくつかのコードパターンを実際に使ってみる										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
専攻実技 4	
第7回	モードについての理解、その使用方法等について理解する
第8回	後期試験を見据えた中間テストで理解を含める
第9回	様々なコードパターンを含む学校をアナライズする
第10回	学生から公募した楽曲をアナライズする
第11回	アポイドを用いたいくつかの例を挙げてその解説を行う
第12回	8小節のケーデンス内でセカンダリーを用いた作曲をする
第13回	8小節のケーデンス内でクリシェ、カノン進行を用いた作曲をする
第14回	作曲したものを授業内で発表する
第15回	後期テスト